

将来のかながわを担う若者世代と一緒に 地球環境問題について考えよう

Climate Youth Japan 加藤 弘人
(IGES葉山本部 2025/1/18)



加藤 弘人 / Hiroto Kato

- 滋賀県立膳所高等学校出身(SSH)
- 一橋大学経済学研究科修士1年
 - 環境経済学
- 青年環境NGO Climate Youth Japan(CYJ)
 - COP29派遣者
 - エネルギー政策



「環境負荷の外部化」

例えば....

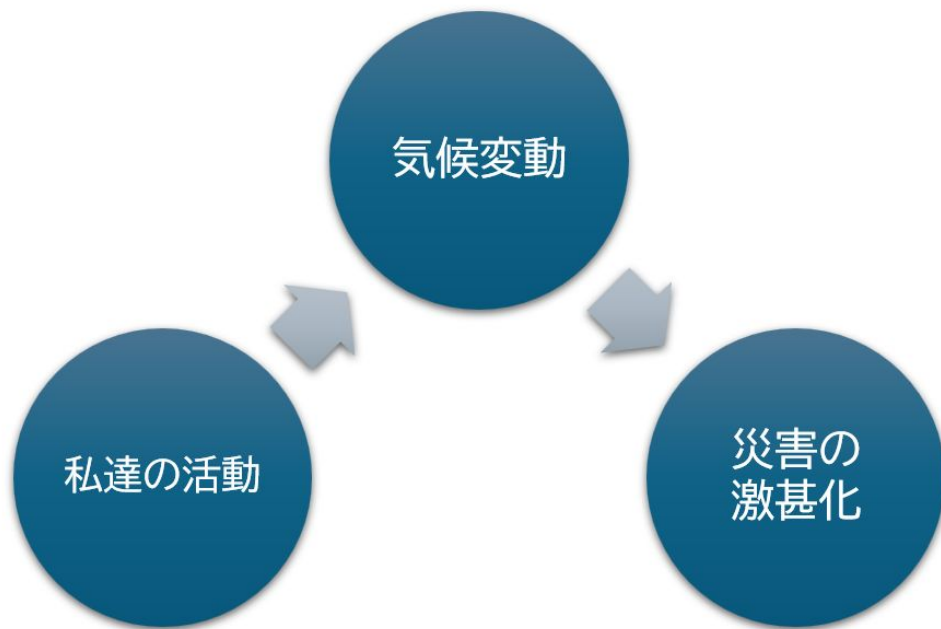
パキスタンの国土の1/3が洪水によって水没



Source: 日本赤十字社[速報]パキスタン洪水:国土の3分の1が水没・日本赤十字社は海外救援金の募集を開始

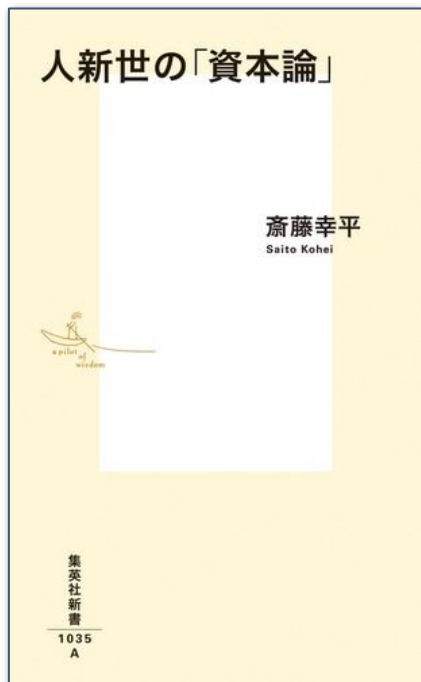
Climate Youth Japan

気候変動に興味を持ったきっかけ



環境負荷の外部化

気候変動に興味を持ったきっかけ



- 高校生時代
 - ラグビーに熱中
- 学部時代
 - 学部3年の秋に『人新世の資本論』という本を読む
 - 環境負荷の外部化、という観点から気候変動に関心を持つ
- 大学院時代
 - Climate Youth Japanで政策提言・COP派遣



「ユースが気候変動を解決に導くことで衡平で持続可能な社会を実現する」をビジョンとし、1.5度目標の達成を見据えてユースが社会の意思決定のプロセスに関わることを目指す。



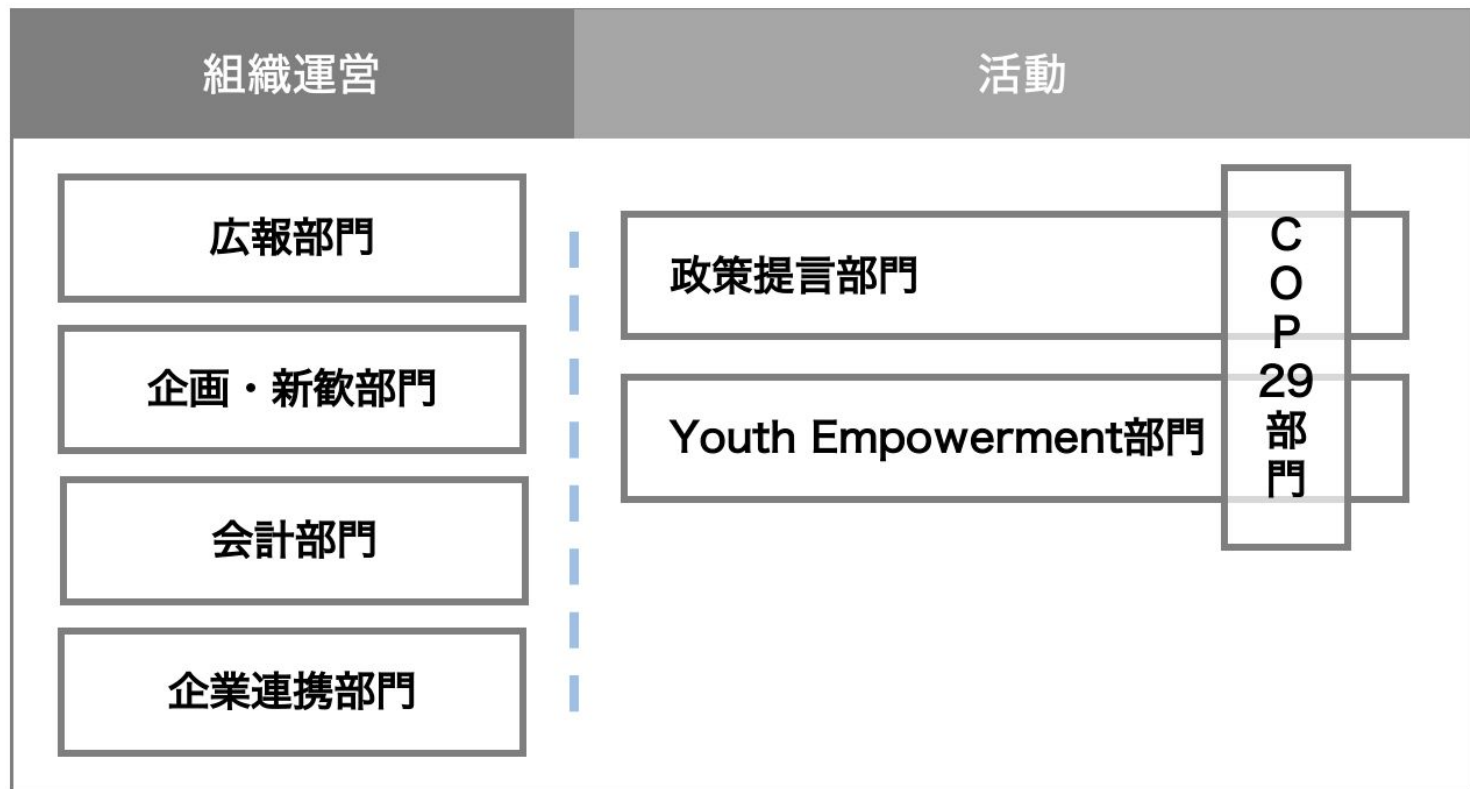
COP15(気候変動枠組条約締約国会議)に参加した日本のユースにより、設立。今年度で15年目。

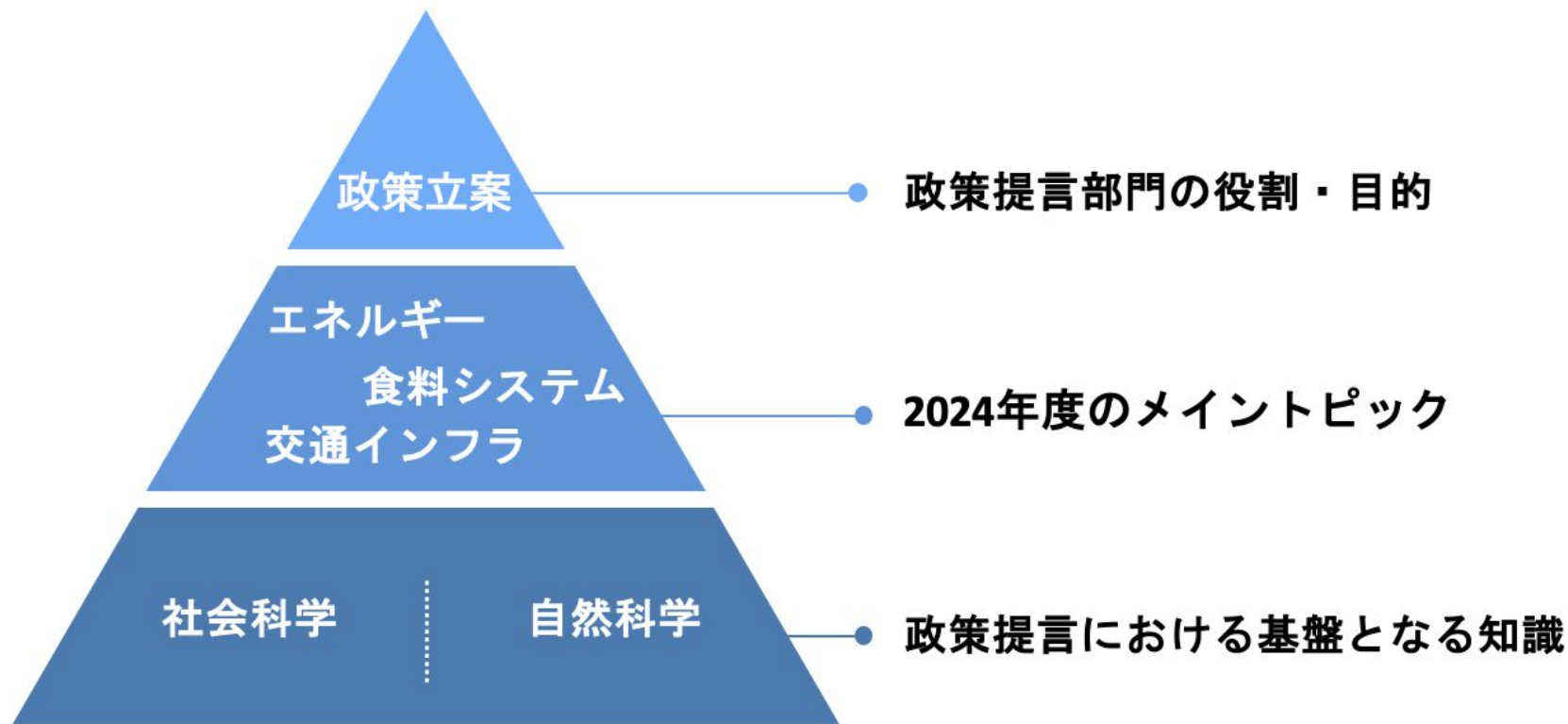


全国各地から集まった中学生から大学生・院生までのメンバー約50名程度で活動。

取り組み紹介

組織図





提言に向けた勉強会の開催



今年度実際に行なった政策提言



経済産業省 資源エネルギー庁御中

第7次エネルギー基本計画策定に際する提言書
～第6次エネルギー基本計画を踏まえて～

青年環境NGO Climate Youth Japan



ユースは将来において、
気候変動の影響を最も受ける世代



ユースが気候政策の
政策決定プロセスへ参画することが、
社会の仕組みとして求められている

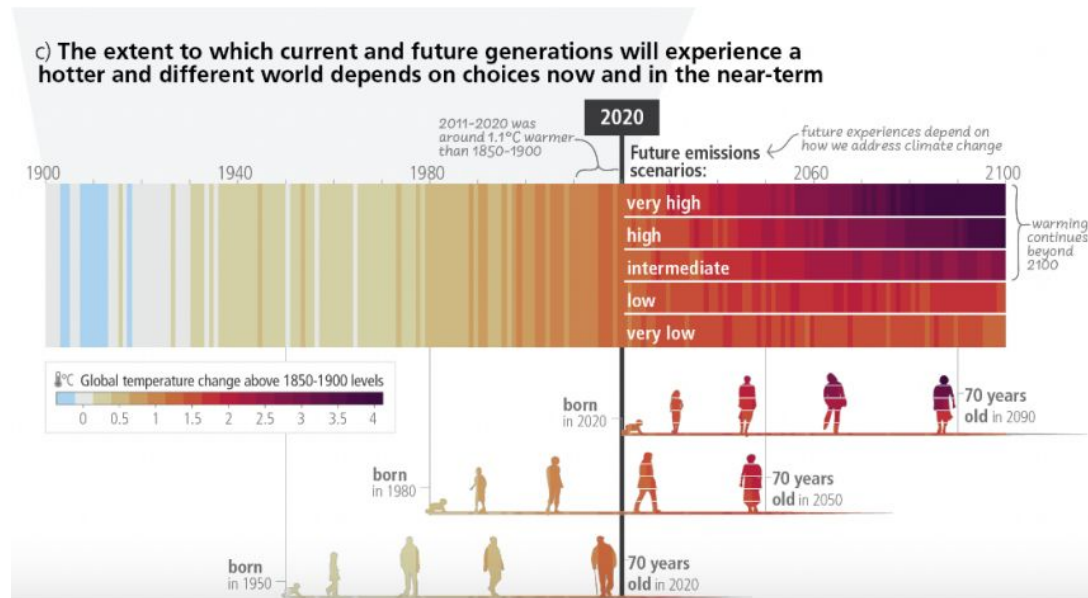


Figure SPM.1 - IPCC AR6 Synthesis Report

COP部門(今年度はCOY19・COP29)



概要

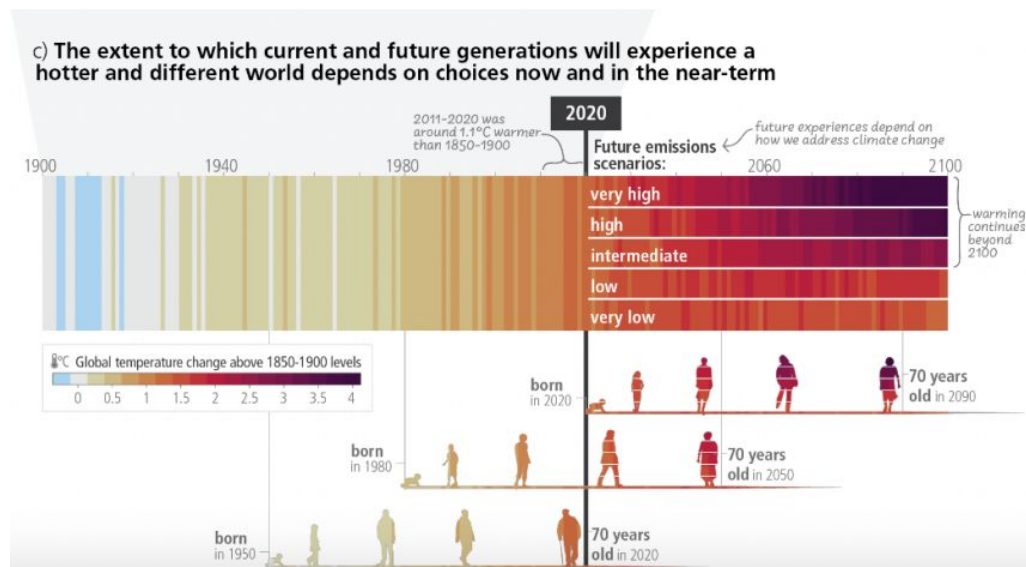
- ・2024年11月11日～24日
- ・アゼルバイジャンに**10人**派遣
(前半5人、後半5人)

活動内容

- ①COPに向けた**事前勉強会**
- ②Pavilion等での**登壇・情報発信**
- ③海外のユースとの**ネットワーキング**
- ④各国・セクターの**Pavilionの視察**
- ⑤**交渉**の傍聴
- ⑥報告会の開催



気候変動の影響をより長い間受けるのは若者



これからの将来を生きるのはまさに自分達 自分達の**未来の社会**を自分達で作ろう

(理系・文系 / 政策・ビジネス・研究・市民社会 / 世界・国・地域 → アプローチは沢山ある)



Thank you!!



@climateyouthjapan



<https://www.climateyouthjp.org/>



Climate Youth Japan (CYJ)
